

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62100 観光宣伝推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・中部北陸9県や白川村、金沢市、南砺市などと連携した広域観光の充実による観光客の増加と広域観光拠点高山の形成を目指します。
	款	6	商工費	個別分野		1	観光							
	項	2	観光費	施策概要		1	地域の魅力が伝わる観光地づくり							
	目	1	観光振興費	根拠計画		高山市産業振興計画								
担当課	商工観光部	観光課	内線	2217										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて行い、高山への来訪を促進する。	概要	・観光PR用のパンフレットやポスターなど宣伝ツールを作成する。 ・各種キャンペーンや物産展などへの出向による誘客宣伝活動を実施する。 ・関係自治体や民間事業者と連携したPR活動を展開する。 ・継続的なイベントや関係団体事業の支援(協賛広告)による誘客宣伝を実施する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	227万人	232万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	207万人	219万人	238万人
観光客消費額(年間)	820億円	1,000億円	790億円
「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	(H26) 74.0%	85.1%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		24,300	12,513	14,300	24,300	22,806	10,293
特定財源	国費(山岳観光推進事業費 10/10)	5,000	0	0	5,000	4,996	4,996
	県費()						
	その他(入湯税、山岳観光推進事業費 ほか)	19,300	12,513	14,072	19,072	17,810	5,297
一般財源		0	0	228	228	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	観光パンフレット等の作成	10,000	8,840	10,000	10,000	8,903	63

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		24,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
18,703	14,300	14,300	0	
17,577	13,620	13,620	△ 452	
1,126	680	680	452	
査定額	説明			
10,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・誘客パンフレットやDVD、HP等による情報発信 ・物産展、旅行エージェント、メディアを活用した宣伝 ・各種旅行関係者の視察受入
評価等	・観光は市の基幹産業の一つであり、引き続き官民一体となった取り組みが必要である。 ・堅調な外国人観光客数の増加と、官民一体となった誘客キャンペーンやイベントを実施したことにより、過去最高の入込数434万5千人に迫る入込みとなった。 ・最小限のコストで実施しているが、外部からの補助金活用等、情報収集にも力を入れる必要がある。 ・観光宣伝事業の実施は、市の政策、市長公約において効果があり、目標達成を図る上では更なる観光宣伝事業が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・観光PR用パンフレット、ポスターなど情報発信ツールを作成し、観光キャンペーン等で活用した。 ・物産展や旅行エージェント、メディアを活用した誘客宣伝を積極的に実施した。 ・松本市と連携した山岳観光推進事業を実施し、山岳観光の魅力を広く発信した。
評価等	・積極的なキャンペーン活動や大手旅行エージェントへの誘客宣伝により、平成28年の観光客入込者数が451万1千人と過去最高となった。 ・観光客の入込者数は年々増加傾向にあるが、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・特定の地域や住民の魅力に惹かれ旅する仕掛けづくりの構築を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するため、国内向けの誘客宣伝、誘客対策にかかる経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62110 高山祭事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る。 高山祭を安全に実施する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 祭協賛会組織への支援による官民一体となった誘客宣伝を実施する。 観光客の安全な誘導に必要な資材の調達や警備の実施など来訪者の受入態勢を整備する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,000	5,717	6,000	6,000	5,946	229
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		6,000	5,717	6,000	6,000	5,946	229
個票枝番	主な事業内容						
	高山祭協賛会に対する助成	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0
	高山祭案内本部運営経費	3,480	3,199	3,480	3,480	3,428	229

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		5,900
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
7,250	6,000	6,000	0	
7,250	6,000	6,000	0	
査定額	説明			
2,000	高山祭協賛会補助金			
3,480	案内本部等の設置、警備員の配置、案内本部運営経費			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーン等による事前PR 祭行事等観光案内業務、誘導看板の設置 観光客等の安全な誘導に必要な警備、器材設置等
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市を代表する観光資源として、高山祭を宣伝すること及び安全に実施することは必要不可欠である。 春祭は2日間とも雨天のため入込数は減少したが、秋祭の入込数は好天及び連休中の開催となったため増加した。 最小限のコストで事業を実施しているが、景況の厳しさ等から受益者負担額が減少し、その分、市の負担が増加する傾向である。また、近年増加している外国人観光客への対応(通訳の配置)が必要となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の対応を強化し、国内外から観光客の誘致を図る。 安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。 ユネスコ世界無形文化遺産登録に向けた協議が進められる中、文化の伝承を意識した誘客活動を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンや高山駅前にのぼり旗を設置するなど事前PRを実施した。 祭会場内に案内本部や誘導看板を設置し、観光客等が安全に安心して観光できる環境を提供した。 祭協賛会への支援を通じ官民一体となった取り組みを行った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック等経済界協議会から通訳ボランティアの協力を得たことにより、外国人観光客へのスムーズな対応ができた。 曜日の周りにも恵まれ、春祭は19万4千人、秋祭は25万2千人といずれも前年を上回る入込となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客の対応を強化し、国内外から観光客の誘致を図る。 安全、安心な事業実施と観光案内を実施する。 ユネスコ世界無形文化遺産登録を契機とした、文化の伝承を意識した誘客活動をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形遺産の活用に関する施策等の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 安心して高山祭が見学できるよう、観光客等の案内及び安全確保に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・観光産業に関する団体や企業などが進める「おもてなし」の高度化事業や活動に対しての支援策を充実します。
	款	6	商工費	個別分野		1	観光							
	項	2	観光費	施策概要		1	地域の魅力が伝わる観光地づくり							
	目	1	観光振興費	根拠計画		高山市産業振興計画								
担当課	商工観光部	観光課	内線	2217										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した誘客活動を展開する。 ・高山訪問の動機づけや周遊型・滞在型観光の魅力の向上を図り、多くの観光客や教育旅行を誘致する。 	概要	・飛騨高山観光客誘致推進協議会による官民一体となった誘客事業を実施する。
----	---	----	--------------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人
観光客入込者数(日帰り)(年間)	227万人	232万人	214万人
観光客入込者数(宿泊)(年間)	207万人	219万人	238万人
観光客消費額(年間)	820億円	1,000億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		16,000	16,000	26,000	26,000	22,617	6,617
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税)	16,000	16,000	26,000	26,000	22,617	6,617
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	0
◎ 1	高山祭屋台からくり競演(市制施行80周年記念)	0	0	10,000	10,000	6,617	6,617

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		16,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
16,000	16,000	16,000	△ 10,000	
16,000	16,000	16,000	△ 10,000	
0	0	0	0	
査定額	説明			
16,000				
0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ・JRと連携した観光キャンペーン ・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行エージェント訪問やパンフレット・DVD作成等による情報発信
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の観光客数は順調に伸びてきており、一定の効果があった。 ・観光関係団体からの負担金含め、官民共同で事業を実施しているが、事業のさらなる効率化を検討する必要がある。 ・観光客のニーズにあった事業を実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民共同による誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。 ・観光客のニーズに合った手法による効果的な誘客活動を実施する。 ・ターゲットを明確にした誘客宣伝を実施する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など民間団体と連携した様々な誘客活動を実施した。 ＜主な取り組み＞ ・テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ・交通事業者と連携した観光キャンペーン ・岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン ・教育旅行エージェント訪問やパンフレット、ホームページ等による情報発信 ・旅行博への出展
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった首都圏をはじめとする都市部や北海道、九州などでのキャンペーン活動を積極的に展開したほか、様々な媒体を活用した情報発信により、全国各地から多くの観光客が高山市を訪問され、平成28年の観光客入込者数が451万1千人と過去最高となった。 ・国内最大級の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、高山市の魅力を広く発信することができた。(入場者数 185,800人) ・高山祭屋台からくり競演では、行政と関係団体が一体となって事業を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった誘客事業を継続する。 ・支所地域の観光関係団体との連携を強化する。 ・旅行者のニーズと観光動向に対応した効果的な誘客活動を実施する。 ・ターゲットを絞った情報発信や新たな客層の掘り起しなど戦略的な誘客活動をすすめる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・ユネスコ無形遺産の活用に関する施策等の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合など、民間団体と連携した誘客活動を展開するために必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62120 観光誘客推進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課	
枝番・内容	1 高山祭屋台からくり競演(市制施行80周年記念)		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	6	商工費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線			2217
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市制施行80周年を記念し、民間団体と連携した特別事業を実施し観光客を誘致する。	概要	・春の高山祭と秋の高山祭でそれぞれ奉納される4つの屋台のからくりが一堂に会して競演する。
----	--	----	--

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	・事業主催団体への負担金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	10,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	10,000
決算額		6,617
対前年度増減額(決算)		6,617

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <p>・春の高山祭と秋の高山祭でそれぞれ奉納される4つの屋台のからくりが一堂に会して競演し、市制施行80周年をお祝いする。 からくり屋台 (春) 三番叟、石橋臺、龍神臺 (秋) 布袋臺</p> <p>実施日:平成28年4月29日(金・祝)、30日(土) 場所:高山陣屋前 主催:高山市制施行80周年記念高山祭屋台からくり競演実行委員会 その他:春の高山祭の「日枝神楽臺」によるお囃子と獅子舞も参加予定</p>	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
<p>[事業実績]</p> <p>・実施日:平成28年4月29日(金・祝)、30日(土) ・場所:高山陣屋前 ・主催:高山市制施行80周年記念高山祭屋台からくり競演実行委員会 ・入出数:148,000人(29日 68,000人、30日 80,000人)</p> <p>[評価]</p> <p>・1日目(29日)は雨のため陣屋前の広場に曳き揃えての競演は中止となったが、各屋台蔵で午前と午後の2回、からくりの上演を行い多くの観光客でにぎわった。 ・2日目(30日)は予定どおり陣屋前に4台のからくり屋台が勢揃いし、多くの観光客や市民とともに市制施行80周年を祝う事業を官民一体となって盛大に実施することができた。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・平成28年度単年度事業</p> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62130 飛騨高山ウルトラマラソン開催事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2217							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域のPR、新たな観光客の獲得及び地域経済の活性化を図る。	概要	・飛騨高山ウルトラマラソンを開催する。 ・各種団体や企業、市民ボランティアなど官民一体となった取り組みを行う。 ・大会に必要な物資等について市内を最優先として調達する。
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,000	1,000	2,000	2,000	2,000	1,000
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税)	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000	1,000
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会負担金	1,000	1,000	2,000	2,000	2,000	1,000

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,000	1,000	1,000	△ 1,000	
1,000	1,000	1,000	△ 1,000	
0	0	0	0	
査定額	説明			
1,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・第4回飛騨高山ウルトラマラソンの開催(広報活動、ボランティアの募集、説明会の開催、各種制作物の作成、スポンサーの募集など) 参加者 2,786人 ・第5回大会の募集(ランニング専門誌への広告掲載、各種ホームページ、マラソン愛好家へのDM発送など)
評価等	・3,000人近い選手や関係者が宿泊し、観光などを行うため、市内の経済波及効果は高い。 ・大会が軌道にのるまでは、市が事業主体となる必要があるが、将来的には、地域の活性化をより図るため、受益団体等が運営する手法を考えていく必要がある。 ・参加人数を増やすことで運営経費を確保し、市の負担を減らしていくが、コースや会場のキャパシティ、安全面、スタッフの確保等に課題がある。 ・魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・第5回飛騨高山ウルトラマラソンを開催し、全国各地から2,979人が参加した。 ・第5回大会を記念し、エイドステーションにおいて特産品などおもてなしの取り組みを実施した。 ・第6回大会に向けた参加者の募集等を行い、3月末までに3,000人を超える応募があった。
評価等	・前年を上回る参加者があり、大会の開催による市内への経済波及効果は高い。 ・これまでのおもてなしの対応により、アンケートでは半数以上が複数回出場していると回答しているほか、5回連続出場者も206人と好評を得ている。 ・応援者も多数同伴されており、魅力的な地域資源を活用したマラソン大会を開催することで、観光客の拡大に結び付いている。 ・参加人数の増加に伴い、駐車場や宿泊施設の確保、コースの安全確保などが課題となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・特定の地域や住民の魅力に惹かれ旅する仕掛けづくりの構築を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・飛騨高山の魅力PRするためのおもてなしに必要な経費の計上
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・観光産業に関わる団体や企業などが進める「おもてなし」の高度化事業や活動に対しての支援策を充実します。 ・全国規模の大会や展示会、国際会議などの誘致に努めます。
			款	6	商工費		個別分野	1	観光		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2216	項	2	観光費	施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり		
				目	1	観光振興費	根拠計画		高山市産業振興計画		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光事業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る。	概要	・観光関連団体や観光関連事業主催者の取り組みを支援する。
----	--	----	------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込人数(年間)	434万人	451万人	452万人
観光客入込人数(日帰り)(年間)	227万人	232万人	214万人
観光客入込人数(宿泊)(年間)	207万人	219万人	238万人
観光客消費額(年間)	820億円	1,000億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		172,063	162,018	176,563	176,563	167,405	5,387
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	172,063	162,018	176,000	176,000	167,405	5,387
一般財源		0	0	563	563	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨・高山コンベンションビューロー補助金	6,063	6,063	6,063	6,063	6,063	0
◎ 1	コンベンション開催支援補助金	20,000	12,310	22,500	22,500	18,752	6,442
	観光客誘致推進事業補助金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0
	観光イベント開催に対する助成	30,000	28,220	32,000	32,000	27,100	△ 1,120
	観光協会の運営に対する助成	16,000	15,425	16,000	16,000	15,490	65

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		174,500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
173,563	173,563	173,563	△ 3,000	
173,000	173,000	173,000	△ 3,000	
563	563	563	0	
査定額	説明			
6,063				
22,500				
100,000				
29,000				
16,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 15,425千円 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 28,220千円 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 100,000千円 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 6,063千円 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:56件、参加者数(飛騨地域を除く):12,004人、実績額:12,310千円
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した結果、観光客入込数は順調に伸びており、成果が上っている。 誘客事業の一つとして一定の効果はあるが、市長公約である年間観光客50万人、外国人観光客50万人の集客にはさらなる事業推進が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会運営費補助金 市内10観光協会に対する補助金 15,490千円 イベント開催支援補助金 市内観光協会や実行委員会に対する補助金 27,100千円 観光客誘致推進事業補助金 観光連絡協議会に対する補助金 100,000千円 飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会のコンベンション誘致事業に対する助成 6,063千円 コンベンション開催支援事業 コンベンション開催数:72件、参加者数(飛騨地域を除く):19,096人、実績額:18,752千円
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 様々な誘客キャンペーンやイベント等を実施した結果、観光客入込数は順調に伸びており、平成28年の観光客入込人数が451万1千人と過去最高となった。 コンベンション開催支援補助金の対象に大学等のゼミ合宿を加えたことで16件の利用があり、若年層に高山市を訪問いただく機会を提供することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・観光関連団体や観光関係事業への支援にかかる経費を計上
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62140 観光協会等助成事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課	
枝番・内容	1 コンベンション開催に対する支援		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	6	商工費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線			2216
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・国際会議等の開催による交流人口の拡大、学術文化の振興及び地域経済の活性化を図る。	概要	・高山市内で開催される国際会議等の主催者及び高山市内で大学等のゼミ合宿を行う団体の代表者に対して支援を行う。
----	---	----	--

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	20,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	20,000
決算額		12,310
対前年度増減額(決算)		△ 2,710

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	22,500
主な経費	・コンベンション開催支援補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	22,500
	繰越	0
	補正等	0
	最終	22,500
決算額		18,752
対前年度増減額(決算)		6,442

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	22,500
主な経費	・コンベンション開催支援補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	・コンベンション開催支援補助金 56件 12,310千円 補助対象人数 12,004人
[評価]	・補助制度を広く周知する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・支援の継続と積極的な誘致活動を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・高山市内で開催される国際会議等の主催者及び高山市内で大学等のゼミ合宿を行う団体に対して支援を行う。 ・平成28年度から新たに高山市内で開催される大学等のゼミ合宿を補助対象に加え、若年層の来訪を促す。 拡充内容(ゼミ合宿) 補助要件 <ul style="list-style-type: none"> ・高山市内で行う大学等のゼミ合宿 ・参加者が10人以上で指導者が同行するもの ・高山市内の宿泊施設を利用し、施設に支払う宿泊料が1,000円以上であること 補助金の額 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数に1,000円を乗じた金額(上限200千円) ・参加者数は学生数と指導者数の合計。ただし、補助対象とする指導者の数は学生の10分の1を上限
[スケジュール]	・4月～ 補助制度の拡充(ゼミ合宿の追加) ・4～3月 補助金交付申請受付、審査、補助金交付
次年度以降の考え方(担当課)	・関係機関等を通じた補助制度のPRを積極的に行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業実績・評価等																															
[事業実績]	・コンベンション開催支援補助金 72件 18,752千円 補助対象人数 19,096人 内訳 <table border="0"> <tr> <td>国内大会</td> <td>学会</td> <td>4件 (1,238人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大会</td> <td>9件 (4,449人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>研修会</td> <td>7件 (1,128人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スポーツ</td> <td>30件 (6,588人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゼミ合宿</td> <td>16件 (532人)</td> </tr> <tr> <td>国際大会</td> <td>学会</td> <td>2件 (742人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大会</td> <td>3件 (4,320人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>研修会</td> <td>0件 (0人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スポーツ</td> <td>1件 (99人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ゼミ合宿</td> <td>0件 (0人)</td> </tr> </table>	国内大会	学会	4件 (1,238人)		大会	9件 (4,449人)		研修会	7件 (1,128人)		スポーツ	30件 (6,588人)		ゼミ合宿	16件 (532人)	国際大会	学会	2件 (742人)		大会	3件 (4,320人)		研修会	0件 (0人)		スポーツ	1件 (99人)		ゼミ合宿	0件 (0人)
国内大会	学会	4件 (1,238人)																													
	大会	9件 (4,449人)																													
	研修会	7件 (1,128人)																													
	スポーツ	30件 (6,588人)																													
	ゼミ合宿	16件 (532人)																													
国際大会	学会	2件 (742人)																													
	大会	3件 (4,320人)																													
	研修会	0件 (0人)																													
	スポーツ	1件 (99人)																													
	ゼミ合宿	0件 (0人)																													
[評価]	・補助金の対象に新たに大学等のゼミ合宿を加えたことで16件の利用があり、若年層に高山市を訪問いただく機会を提供することができた。 ・ゼミ合宿が対象になったことを広く周知する必要がある。																														
次年度以降の考え方(担当課)	・関係機関等を通じた補助制度のPRを積極的に行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定																														

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・高山市内で開催される国際会議等の主催者及び高山市内で大学等のゼミ合宿を行う団体の代表者に対して支援を行う。
[スケジュール]	・4～3月 補助金交付申請受付、審査、補助金交付

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(観光ハブ拠点)の形成に努めます。 ・中部北部9県や白川村、金沢市、南砺市などと連携した広域観光の充実による観光客の増加と広域観光拠点高山の形成を目指します。
	款	6	商工費		個別分野	1	観光						
	項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり						
	目	1	観光振興費		根拠計画	高山市産業振興計画							
担当課	商工観光部	観光課	内線	2216									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な観光施策を推進する。 ・情報通信技術を活用した積極的な観光情報の発信を行う。 ・ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備を行う。 ・各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業を展開する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計や交通量調査等による観光関連データを収集する。 ・携帯端末や専用機器を活用し、様々なニーズに対応した観光情報を発信する。 ・各種協議会への参加を通じた積極的な誘客活動を展開する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込人数(年間)	434万人	451万人	452万人
観光客入込人数(日帰り)(年間)	227万人	232万人	214万人
観光客入込人数(宿泊)(年間)	207万人	219万人	238万人
観光客消費額(年間)	820億円	1,000億円	790億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職人員件費を除く)		21,915	19,594	21,330	21,330	20,626	1,032
特定財源	国費(バリアフリー観光推進事業費 10/10)	3,000	1,200				
	県費						
	その他(入湯税、飛騨高山ふるさと基金繰入金)			800	800	786	786
一般財源		18,915	18,394	20,530	20,530	19,840	1,446
個票枝番	主な事業内容						
	芸術育成に対する助成	1,500	1,355	1,500	1,500	1,370	15
	各種協議会負担金	12,755	12,836	14,640	14,640	14,601	1,765
◎ 1	バリアフリー観光の推進に係る支援	3,000	1,200	1,000	1,000	1,000	△ 200
	飛騨民俗村再整備計画の策定						
	無形文化遺産を活用したツアーの造成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		16,800
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
33,962	31,607	31,607	10,277	
0	9,300	9,300	8,500	
33,962	22,307	22,307	1,777	
査定額	説明			
1,500				
16,507				
0				
5,170				
3,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計の作成、交通量調査等の実施 ・各種協議会事業の実施(キャンペーン等への出役等) ・おもてなし文化振興事業(芸術育成)に対する助成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な誘客事業や観光客受入の環境整備が観光客の増加に繋がっている。 ・様々な誘客キャンペーンやイベント等の実施により、入込客数が増加しており、成果がある程度あがっている。 ・観光客500万人の達成には至っていないが、入込客数を増加傾向に転じることができ市長公約の実現に向けてある程度効果がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 <p>・観光関連アンケートの実施及び分析とそれに基づいた戦略的観光施策を検討する。</p>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の入場者数や市内宿泊者数のデータ収集、交通量の調査、観光客へのアンケートなどにより、毎月の観光動向を把握した。 ・各種協議会等に参画し、様々なテーマでの誘客宣伝活動を実施した。 ・おもてなし文化を振興するため、芸術の育成を行う団体の取り組みを支援した。 ・バリアフリー観光の推進を図る団体を支援し、「飛騨高山ユニバーサル観光ガイドブック」を作成した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な誘客事業や観光客受入の環境整備が観光客の増加に繋がり、平成28年の観光客入込人数が451万1千人と過去最高となった。 ・おもてなし文化後継者育成事業として講師を招聘し、総合的に伝統芸能を習得させることができた。 ・観光統計を踏まえ、多様化する観光客のニーズを把握し、より効果的な宣伝活動を展開する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <p>・観光関連アンケートの実施及び分析とそれに基づいた戦略的観光施策を検討する。</p> <p>・高山祭屋台行事のユネスコ無形文化遺産登録を契機とした関係自治体と連携した新たな取り組みをすすめる。</p>

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ユネスコ無形文化遺産の活用に関する施策の新規・拡充を検討すること。 ・特定の地域や住民の魅力に惹かれ旅する仕掛けづくりの構築を検討すること。
担当課予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計及び観光経済波及効果調査など観光関連情報の収集に必要な経費を計上 ・広域で連携した観光客誘致に必要な経費を計上 ・民間事業者の提供する会員向けサイトへの情報提供にかかる経費を計上
財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・飛騨民俗村再整備計画策定に要する経費を計上
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62150 観光振興事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 バリアフリー観光の推進に係る支援		<input checked="" type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2216	
		<input type="checkbox"/>		目		1	観光振興費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・バリアフリー観光の推進による特色ある観光地づくりや誘客促進を図る。	概要	・バリアフリー観光をコーディネートする団体が取り組む窓口の開設等に必要な経費の一部に対して支援を行う。
----	------------------------------------	----	---

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	3,000
	補正等	0
	最終	3,000
決算額		1,200
対前年度増減額(決算)		1,200

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・バリアフリー観光推進事業補助金	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,000
決算額		1,000
対前年度増減額(決算)		△ 200

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費	※バリアフリー観光をコーディネートする団体の自主運営	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー観光推進事業補助金 1団体(1,200千円) 補助金交付先 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会 	
主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・市内観光施設のバリアフリー情報の収集 宿泊施設 56件、観光施設 22件 ・一元的相談窓口の開設 ・バリアフリー情報の提供 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度補正事業を27年度に繰り越して実施したもの。 ・各施設のバリアフリー情報を収集することで、相談者に対し適切な案内ができるようになった。 ・多様化するニーズに対し適切な情報を提供するとともに、特色ある観光地づくりをすすめるため、継続的な取り組みが必要である。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー観光をコーディネートする団体が取り組む窓口の開設等に必要な経費の一部に対して支援を行う。(補助率 1/2) 	
補助金交付予定団体 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会 主な事業内容(計画) <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度収集した情報を基にしたガイドブックの作成 ・ホームページや窓口を活用したバリアフリー情報の提供 	
[スケジュール]	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年5月～12月 ガイドブック作成に向けた資料収集(写真等) ・平成29年1月～3月 ガイドブックの作成(校正・印刷) 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 バリアフリー情報の提供

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー観光推進事業補助金 1団体(1,000千円) 補助金交付先 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会 	
主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ユニバーサル観光ガイドブックの作成 ・バリアフリー情報の提供 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に収集した情報を「飛騨高山ユニバーサル観光ガイドブック」としてまとめ、予定通りの事業が実施できた。 ・バリアフリー観光の取り組みをすすめるため、窓口やホームページなどを通じた案内等を継続的に行う必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組みで体制整備や情報収集など一定の成果が得られたことから、今後は自主運営とすることで助言など補助金以外の支援を行い、事業を推進する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ※バリアフリー観光をコーディネートする団体の自主運営 	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	2	観光施設費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光関連施設を適切に管理運営する。	概要	・観光施設の管理運営を行う。
----	--------------------------------------	----	----------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28		(千円)	
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		282,950	274,562	227,560	227,560	224,037	△ 50,525
特定財源	国費(観光施設整備事業費 1/2)	19,000	27,318	7,500	7,500	6,020	△ 21,298
	県費(新穂高温泉園地管理費等)	674	254	274	274	254	0
	その他(指定管理事業雑入(観光施設)等)	30,269	37,271	66,406	66,406	64,200	26,929
一般財源		233,007	209,719	153,380	153,380	153,563	△ 56,156
個票枝番	主な事業内容						
	観光施設の管理運営(指定管理)	113,800	113,698	113,770	113,770	113,766	68
◎ 1	観光施設の整備	141,000	137,890	88,000	88,000	87,100	△ 50,790

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	205,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)
267,415	242,400	242,400	14,840
2,400	2,400	2,400	△ 5,100
274	274	274	0
29,210	61,858	61,858	△ 4,548
235,531	177,868	177,868	24,488
査定額	説明		
114,100			
94,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設26施設の管理運営(うち指定管理による運営24施設) 観光施設整備(飛騨民俗村旧田中家修理工事、ジョイフル朴の木修理工事、荘川の里宝蔵寺屋根葺き替え工事、七峰館引湯施設修繕工事ほか)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 民間と競合する施設も多く、一部の施設では譲渡等を検討していく必要がある。 指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上はもとより、運営経費の縮減が図られ、施設運営手法としては有効である。 施設利用者は90万人を超え、昨年度と比較して増加しており、目標である観光客500万人達成に向けて効果があった。 滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な維持修繕 休止施設の活用検討 廃止可能な施設の検討 譲渡可能な施設の譲渡に向けた手続きの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設26施設の管理運営(うち指定管理による運営24施設)を行った。 飛騨民俗村の国指定重要文化財旧田中家住宅耐震補強や旧西永家住宅改修、荘川の里の源郷橋修繕など、観光施設の維持修繕にかかる工事を実施した。 歴史街道を紹介する多言語観光案内看板を4箇所整備した。 休止施設(ホテルバスカル清見)の有効活用を図るため、民間への譲渡をすすめた。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 民間と競合する施設もあり、一部の施設では譲渡等を検討していく必要がある。 指定管理者制度の導入により、利用者へのサービス向上や運営経費の縮減が図られている。 滞在型・通年型観光の推進のためにも、観光施設のさらなる有効活用は重要である。 休止施設の活用策について検討が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に施設の修繕をすすめる。 休止施設の今後の活用策を検討する。 譲渡可能な施設の譲渡に向けた取り組みをすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の運営及び施設整備に必要な経費を計上 建築基準法、消防法に基づく各種報告、改修等に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62200 観光施設運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工観光部 観光課
枝番・内容	1 観光施設の整備		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	6	商工費		
		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2209	
		<input type="checkbox"/>		目		2	観光施設費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然資源の活用施設や体験交流施設など観光関連施設を計画的に改修する。	概要	・観光施設の改修等を実施する。
----	-------------------------------------	----	-----------------

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	82,000
	繰越	38,000
	補正等	21,000
	最終	141,000
決算額		137,890
対前年度増減額(決算)		△ 98,916

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	88,000
主な経費	・設計等委託料 ・施設整備工事費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	88,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	88,000
決算額		87,100
対前年度増減額(決算)		△ 50,790

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	94,000
主な経費	・設計等委託料 ・施設整備工事費	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・設計等委託 4件 (6,556千円) ・施設整備工事 32件 (131,334千円) 	
<p>修繕工事等を実施した主な施設(300万円以上:※は国庫補助事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨民俗村国重要文化財旧田中家住宅保存工事 ※ ・飛騨民俗村立保神社修理工事 ・飛騨民俗村旧永田家住宅修理工事 ・乗鞍バスターミナル合併浄化槽設備修繕工事 ・ジョイフル朴の木改修工事 ・荘川の里人工河川本復旧工事 ・荘川の里宝蔵寺庫裏屋根修繕工事、旧木下家屋根仮修繕 ・塩沢温泉引湯施設修繕工事 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕工事等を予定どおり実施できた。 ・老朽化の進む観光施設について、計画的に改修を行う必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の修繕工事等の実施 修繕工事等を行う主な施設 <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨民俗村(旧田中家、旧西永家) ・観光案内看板多言語化(4ヶ所) ・乗鞍バスターミナル(舗装、石積み) ・ジョイフル朴の木(エレベータ、温泉ポンプ) ・殿下平総合交流ターミナル(雨漏り) ・荘川の里(源郷橋) ・胡桃島キャンプ場(導水管) ・しぶきの湯(湯湯ポンプ) ・奥飛騨温泉郷オートキャンプ場(シャワー棟煙突) ・平湯大滝公園(公園ポンプ) ・新穂高駐車場(ゲート移設) ・鍋平登山者用駐車場(舗装等) 	
[スケジュール]	

事業実績・評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・設計等委託 3件 (3,333千円) ・施設整備工事 25件 (83,767千円) 	
<p>修繕工事等を実施した主な施設(300万円以上:※は国庫補助事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨民俗村国重要文化財旧田中家住宅耐震補強工事 ※ ・飛騨民俗村旧西永家住宅修理工事 ・多言語案内看板設置工事 ※ ・殿下平総合交流ターミナル屋根防水工事 ・乗鞍バスターミナル舗装修繕工事 ・荘川の里源郷橋修繕工事 ・胡桃島キャンプ場水道施設整備工事 ・しぶきの湯遊湯館湯湯ポンプ施設交換工事 ・鍋平登山者用駐車場改良工事 	
[評価]	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕工事等を予定どおり実施できた。 ・老朽化の進む観光施設について、計画的に改修を行う必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に施設の修繕をすすめる。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設の修繕工事等の実施 修繕工事等を行う主な施設 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内看板多言語化(4ヶ所) ・飛騨高山キャンプ場(倉庫解体) ・乗鞍バスターミナル(屋根、エレベータ、浄化槽等) ・ジョイフル朴の木(浴場昇温設備) ・森林公園大倉滝(コテージ) ・バスカル清見キャンプ場(管理棟、バンガロー) ・桜香の湯(ろ過機、浴室 ほか) ・荘川の里(消防用設備) ・胡桃島キャンプ場(自火報) ・七峰館(暖房設備) ・野麦峠の館(外壁、雨漏り) ・しぶきの湯(空調機更新) ・四十八滝公園(遊歩道、バンガロー) ・奥飛騨温泉郷オートキャンプ場(下水道切替) 	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62210 スキー場運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	6	商工費		個別分野	1	観光	
			項	2	観光費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	2	観光施設費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市営スキー場2施設を適切に管理運営する。	概要	・モンデウス飛騨位山スノーパーク及びひだ舟山スノーリゾートアルコピアの管理運営を行う。
----	-----------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職人員件費を除く)		46,036	45,538	31,006	52,006	51,258	5,720
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(観光施設使用料)	449	437	449	449	451	14
一般財源		45,587	45,101	30,557	51,557	50,807	5,706
個票枝番	主な事業内容						
	スキー場の整備	18,000	17,967	30,000	30,000	29,982	12,015
	施設の管理運営(指定管理)	27,000	26,565	0	21,000	20,270	△ 6,295

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		19,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
24,610	26,974	26,974	△ 4,032	
434	434	434	△ 15	
24,176	26,540	26,540	△ 4,017	
査定額	説明			
26,000				
0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)の指定管理による運営 ・スキー場設備の整備 ・平成27年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 24,013人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 13,386人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光収入の柱であり、関連する宿泊施設、飲食施設に経済効果を与えている。 ・地域にとっては重要な雇用の場であり、地域活性化としてのニーズがある。 ・地域の学校のスキー研修等にも活用されており、冬期間の市民のスポーツレジャー施設となっている。 ・民間事業者と競合する施設であり、施設の在り方を検討していく必要がある。 ・指定管理者制度の導入により、利用者サービスの向上や運営経費の縮減が図られ、施設運営手法としては有効である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 <p>・市営スキー場の在り方を検討するとともに指定管理者制度による運営を実施していく。</p>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者により市営スキー場2施設(モンデウス飛騨位山スノーパーク・ひだ舟山スノーリゾートアルコピア)の運営を行った。 ・利用者の安全を確保するためのリフト修繕を実施した。 ・平成28年度利用者数 モンデウス飛騨位山スノーパーク 28,674人 飛騨舟山スノーリゾートアルコピア 22,718人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光収入の柱であり、関連する宿泊施設、飲食施設に経済効果を与えている。 ・地域にとっては重要な雇用の場であり、地域活性化施設としてのニーズが高い。 ・地域の学校のスキー研修等にも活用されており、冬期間の市民のスポーツレジャー施設となっている。 ・スキー人口の減少や雪不足による営業開始の遅れなどにより安定した収入の確保が難しく、スキー場の経営が困難となってきているほか、民間事業者と競合する施設であり、施設の在り方を検討していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <p>・市営スキー場の在り方を検討するとともに指定管理者制度による運営を実施していく。</p>

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・リフト等施設の改修整備に必要となる経費を計上
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	62220 観光案内所運営事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
	款	6	商工費	個別分野		1	観光						
	項	2	観光費	施策概要		1	地域の魅力が伝わる観光地づくり						
	目	2	観光施設費	根拠計画		高山市産業振興計画							
担当課	商工観光部	観光課	内線	2209									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光案内所を適切に管理運営する。	概要	・飛騨高山観光案内所及び新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の管理運営を行う。 ・まちかど観光案内所を設置し運営する。
----	-------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人
高山市への再来訪の意向	98.9%	98.8%	98%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,500	20,892	20,480	20,480	19,392	△ 1,500
特定財源	国費(観光施設整備事業費 1/2)	1,000	972				
	県費						
	その他(夢・まちづくり基金繰入金、入湯税等)	2,400	2,254	2,400	2,400	2,404	150
一般財源		18,100	17,666	18,080	18,080	16,988	△ 678
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山観光案内所の管理運営	12,450	12,385	13,000	13,000	12,954	569
	まちかど観光案内所の設置及び運営	3,330	3,120	3,330	3,330	3,098	△ 22
	新穂高センターの管理運営	5,720	5,387	4,150	4,150	3,340	△ 2,047
	備品購入						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		24,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
26,044	25,030	25,030	4,550	
2,437	21,000	21,000	18,600	
23,607	4,030	4,030	△ 14,050	
査定額	説明			
13,550				
3,330				
4,150				
4,000	JR高山駅東口に改築する新案内所備品			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・飛騨高山観光案内所の指定管理による運営(案内(利用者)数 375,721人) ・まちかど観光案内所の運営 ・新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)の運営(案内(利用者)数 13,338人)
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・飛騨高山観光案内所の指定管理による運営を行い、343,878人の利用があった。 ・古い町並のエリア内にまちかど観光案内所を設置し運営を行った。 ・新穂高センター(奥飛騨温泉郷観光案内所)を直営で運営し、14,694人の利用があった。 ・新穂高センターの指定管理者の募集を行ったが、応募はなかった。
評価等	・高山駅周辺工事の影響で昨年度に比べ利用者が若干減少したものの、観光客のニーズは高く、観光の起点としての役割を果たしている。 ・新穂高センターの指定管理者の指定に向け、他施設とのグループ化など募集方法の見直しが必要となっている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・観光案内所の管理運営に必要な経費を計上 ・新設される飛騨高山観光案内所の備品購入に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	11100 一般管理費	予算	会計	11	観光施設事業特別会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	1	総務費		個別分野	1	観光	
			項	1	総務管理費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	1	一般管理費		根拠計画	高山市産業振興計画		
担当課	商工観光部 観光課	内線	2209							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スキー場の経営により冬季の観光振興を図る。 ・大規模な駐車場の提供による利便性の向上により山岳観光への誘客を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍高原飛騨高山スキー場及びあかんだな駐車場の管理運営を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
観光客入込者数(年間)	434万人	451万人	452万人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		86,101	75,433	94,653	94,653	88,667	13,234
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(駐車場使用料、リフト使用料、施設使用料 ほか)	86,101	75,433	94,653	94,653	88,667	13,234
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍高原飛騨高山スキー場の管理運営	69,241	62,060	76,356	76,356	72,333	10,273
	あかんだな駐車場の管理運営	15,150	13,208	15,187	15,187	13,634	426

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		102,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
141,082	98,329	98,329	3,676	
141,082	98,329	98,329	3,676	
0	0	0	0	
査定額	説明			
81,141				
15,178				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山スキー場及びあかんだな駐車場の管理運営 飛騨高山スキー場利用者数 33,976人 あかんだな駐車場利用台数 53,024台 ・飛騨高山スキー場第1ペアリフトの改修
評価等	<p><飛騨高山スキー場> ・暖冬による雪不足の影響で営業日数が減少、利用者数も減少した。 ・スキー場の運営は冬期間の観光振興・観光客誘致事業として重要な役割を担っている。</p> <p><あかんだな駐車場> ・営業日数も確保でき、利用者台数も増加した。 ・大規模な駐車スペースを提供することにより、上高地や乗鞍岳への観光客の集客が図られている。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 <p><飛騨高山スキー場> ・有益な誘客方法及びスキー場振興策を検討する。 ・老朽化した施設設備を計画的に修繕する。 <あかんだな駐車場> ・施設内設備の老朽化にも適切に対応しながら、利用者の利便性を重視した運営を行う。</p>

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍高原飛騨高山スキー場を運営し、33,481人の利用があった。 ・あかんだな駐車場を運営し、登山客を中心に50,437台の利用があった。 ・乗鞍高原飛騨高山スキー場リフト(高速ペー・第1ペー)の安全を確保するための修繕を実施した。
評価等	<p>・スキー人口の減少や雪不足などの影響で利用者が減少傾向にあるほか、民間事業者と競合する施設であることからスキー場の在り方を検討していく必要がある。</p> <p>・スキー場の運営は冬期間の観光振興・観光客誘致事業として重要な役割を担っているほか、隣接する乗鞍青少年交流の家利用者の重要な研修施設となっている。</p> <p>・大規模な駐車スペースを提供することにより、上高地や乗鞍岳をはじめとする山岳観光の拠点としての役割を担っている。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 <p><飛騨高山スキー場> ・有益な誘客方法及びスキー場振興策を検討する。 ・老朽化した施設設備を計画的に修繕する。 <あかんだな駐車場> ・施設内設備の老朽化にも適切に対応しながら、利用者の利便性を重視した運営を行う。</p>

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・施設の運営及び改修整備に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
-----------	-------------